

所 感

漢字の形成には六書の法があり、絹という漢字は形成文字である。意味をあらわす“糸”と音をあらわす“月”からなっているが、“月”という字をよくみると“口”の下が“月”である。もし“口”に指示文字の要領に従って一本線を入れると“口”は“日”になる。とすると、絹は糸の中の太陽でもあり、また月でもあるということになるので、絹は糸の中で最もすばらしいという意味になりはしないか。想像は無限に続く。絹は確かにすばらしい繊維であるが、完全無欠ではない。絹は長く着ていると変色する。また皺にもなり易い。研究者の使命は養蚕、製糸、絹加工を通じ、科学と技術によって絹の“口”に一本線を入れて“日”にすることではなかろうか。

今日の近代的な蚕糸科学と技術は、主として日本人によってつくられたもので、その水準ははるかに世界において群を抜いている。しかし、どうしたわけか桑園の土地生産性は10アール当たりの繭生産が60キロ以下で、ここ数十年向上一どころかむしろ減退している。しかし個々の養蚕農家についてみると、150キロの繭を生産している篤農家もあれば、また僅か20～30キロしか繭を生産していない農家もある。稲作のように平準化が望まれる。桑園の土地生産性の低下には種々の原因が考えられるが、その一つは高齢化による桑園管理の粗放化があげられるが、その労働力の軽減と、生産性の向上には今後除草剤の果たす役割がより重要になろう。

〔財団法人 日本植物調節剤研究会理事 福田紀文〕
〔財団法人 大日本蚕糸会理事・蚕糸科学研究所長 福田紀文〕

目 次 (第20巻第3号)

中国における水稲作と雑草防除の現状…… 2

＜クミアイ化学工業㈱ 篠原 寛＞

1. は じ め に…………… 2
2. 農 業 の 概 況…………… 2
3. 稲 の 栽 培…………… 2
4. 雑草防除と除草剤…………… 5
5. お わ り に…………… 6

寒冷地におけるリンゴ園の土壌管理…… 6

＜果樹試験場盛岡支場 福田博之＞

- は じ め に…………… 6
1. リンゴ園における土壌管理法…… 7
2. リンゴ園での施肥管理と草生栽培…………… 8
3. スピードスプレーヤー導入と草生栽培…………… 8
4. 草生栽培における草種の選択…… 9
5. 草 生 管 理 法…………… 9
6. 草生管理法としての除草剤…………… 10
- お わ り に…………… 11

暖地における落葉果樹園の下草管理…… 11

＜果樹試験場口之津支場 高原利雄＞

世界の農耕地雑草とその調査研究(9)

——シ ソ 科 (3)——…………… 19

＜宇都宮大学 竹松哲夫・一前宣正＞

昭和60年度常緑果樹関係除草剤・生

育調節剤試験成績概要…………… 31

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞